

津市総合計画前期基本計画試案の概要

1 計画フレーム

目標年次
平成 24 年度
(2012 年度)

人口 29 万 2 千人 (H19)
○すう勢値 29 万 1 千人
●目標値 29 万 6 千人
世帯 11 万 9 千世帯 (H19)
○すう勢値 12 万 7 千世帯
●目標値 12 万 9 千世帯

就業人口 14 万人 (H19)
○すう勢値 13 万 9 千人
●目標値 14 万 4 千人
市内総生産 1 兆 2,680 億円 (H19)
○すう勢値 1 兆 3,890 億円
●目標値 1 兆 4,380 億円

2 目標別計画

1 美しい環境と共生するまちづくり

- 循環型社会の形成
- 次世代に残す自然環境の保全
- 快適な生活空間の形成
- 生活基盤の整備

2 安全で安心して暮らせるまちづくり

- 安全なまちづくりの推進
- 健康づくりの推進と地域医療体制の充実
- 地域福祉社会の形成

3 豊かな文化と心を育むまちづくり

- 生きる力を育む教育の推進
- 高等教育機関との連携・充実
- 生涯学習スポーツ社会の形成
- 文化の振興
- 人権尊重社会の形成

4 活力のあるまちづくり

- 自立的な地域経済の振興
- 交流機能の向上
- 観光の振興

5 参加と協働のまちづくり

- 市民活動の促進
- 市民との協働の推進

● 主な取組(重点プログラムを除く)

- 成人を対象とした夜間応急診療所の整備
- 新たな斎場の整備に向けた取組
- 消防デジタル無線の整備
- 防災避難施設の整備
- 地域防災通信情報システム整備
- 給食センターの建設
- 園校舎の耐震化
- 幼保合同保育の推進
- 水道管の更新、耐震化 など

4 財政の見通し

財政の見通しの前提条件

- 普通会計を対象に、現行の地方財政制度を基本として試算。
- 計画フレームのすう勢値と目標値を基にそれぞれ試算し、「幅」を持たせて設定。

(歳入の見通し)

- 最近における国の経済成長率を考慮し、今後の経済成長見通しを 2%前後と想定。
- 市民税や固定資産税等に影響を与える本市の人口見通しについては、平成 24 年度ですう勢値を 29 万 1 千人、目標値を 29 万 6 千人と想定。
- 国県支出金、各種交付金などの依存財源については、国の厳しい財政状況を考慮し、現状維持で推移することを見込み、地方交付税は、地方財政計画を踏まえるとともに、合併特例債の借入の影響などを反映して試算。

(歳出の見通し)

- 義務的経費を含む経常的経費については、職員数 2,500 人の達成を前提とした人件費の見通しなど、行財政改革の取組を反映。健全財政の維持とまちづくりへの投資を両立する観点から、経常収支比率 85%への近接を目標として設定。
- 投資的経費については、合併特例債の使い方によっても大きく変化するため、実質公債費比率 18%以内を目標。
- 平成 24 年度までの特例債対象事業費の総額の上限を 240 億円程度として設定。

基本計画期間(H20~H24)

参考:基本構想期間(H20~H29)

歳入・歳出総額(累計額)	4,480~4,560 億円
うち投資的経費(累計額)	460~ 540 億円

8,940~9,250 億円
920~1,170 億円

3 重点プログラム

○まちづくり戦略プログラム

プログラムの構成	主な事業展開	主な所管部	
未来を拓く都市空間形成プログラム (想定事業費 9,200 百万円)	①新都心軸の形成、②副都市核の整備、③産業拠点を中心とした企業立地の促進と産業の高度化、④広域交通ネットワークの形成	まちなかで学生が活動するための拠点づくり、久居駅東側周辺地区の整備、中勢北部サイエンスシティ第1期未造成区域の造成と関連公共施設の整備、ニューファクトリーひさいの大規模区画の分割整備、産業振興センター(仮称)の設置等による企業立地促進、環状放射型道路交通網の整備、地域公共交通の連携等に係る協議会の設置など	市長公室 商工観光部 都市計画部 建設部
自然の恵みの価値創造プログラム (想定事業費 29,000 百万円)	①豊かな自然の恵みを次世代に引き継ぐための取組、②森林セラピー基地の整備、③山から海までの河川流域の一体的な取組	農山村活性化プロジェクトの推進、農業基盤整備の推進、山と川と海のネットワークづくり、下水道事業の整備推進、浄化槽設置の促進、河川改修事業の推進と整備促進、急傾斜地崩壊防止対策の促進など	環境部 農林水産部 下水道部
海に開くまちづくりプログラム (想定事業費 240 百万円)	①津なぎさまちの整備、②魅力ある津の海の環境整備、③漁港の基盤整備	賑わいの創出を図るみなとまちづくりの推進、観光資源としての津の海の魅力の向上、ふるさと海岸整備事業の促進(賢崎地区の整備継続、阿漕浦・御殿場地区及び栗真町屋地区の早期事業化)、河芸町島崎町線の整備、漁港等の環境整備の推進など	都市計画部 農林水産部 建設部
持続可能な地域形成プログラム (想定事業費 11,600 百万円)	①森林・自然アカデミー事業の推進、②市民版環境マネジメントシステムの普及とごみ減量化、③新最終処分場の建設、④津エコレッジ(仮称)の形成促進	環境学習の拠点となる森林・自然アカデミー事業の推進、3R 推進事業の実施、環境に配慮した新最終処分場の建設推進、環境をテーマとした地域振興をめざす津エコレッジ(仮称)の形成促進など	環境部
歴史と文化の拠点形成プログラム (想定事業費 830 百万円)	①一身田寺内町の町並み保全と活用、②多気北畠氏城館跡周辺地区の保全と活用、③津城跡(お城公園)周辺地区の整備と活用、④千歳山の保全と活用、⑤文化芸術の拠点性の向上	一身田寺内町まちづくり事業の推進、多気北畠氏城館跡・津城跡の保存・管理計画の策定による保存と活用、千歳山整備活用事業の推進、新しい博物館の整備促進など	教育委員会 市長公室 都市計画部
健康とスポーツの振興プログラム (想定事業費 2,200 百万円)	①まち歩き(ウォーキング)による健康づくりの推進、②地域特性を活かしたウォーキングコースの設定と全国規模の大会開催、③健康づくりやスポーツ振興に取り組むための地域のネットワークづくり、④総合的なスポーツ施設の整備	まち歩きによる市民の健康づくりと集客交流の総合的な推進、ウォーキングコースの新たな設定と全国規模のウォーキング大会の開催、県都にふさわしい総合的なスポーツ施設として、体育館を含めた総合的な屋内施設の早期着工に向けた取組、テニスコート等既存のスポーツ施設の機能拡充など	健康福祉部 教育委員会 商工観光部 総合支所

○元気づくりプログラム

プログラムの構成	主な事業展開	主な所管部	
住みやすさ向上プログラム (想定事業費 30 百万円)	①「ささえ愛」による暮らしの安心づくり、②市民主体の環境活動の推進、③地域の消防防災力の向上	ささえ愛ひろめ隊事業を通じた市民が相互に支えあえる仕組みづくり、市民エコ活動センターを拠点に市民が環境活動に取り組める仕組みづくり、津市民防災大学の活動等を通じた地域防災活動の活性化、消防防災指導センター(仮称)の設置など	健康福祉部 消防本部 環境部 防災危機管理室
元気な人づくりプログラム (想定事業費 40 百万円)	①地域連携センター(仮称)の設置と地域貢献の推進、②地域の学びの拠点づくり、③津市げんき大学の活動促進	三重短期大学地域連携センター(仮称)による大学・地域連携の仕組みづくり、しゃくなげ教室の開催など学校における地域の学びの拠点づくり、津市げんき大学と連携したまちづくりの担い手育成や協働の展開など	三重短期大学 教育委員会 市民部
若者定住プログラム (想定事業費 150 百万円)	①魅力ある産業の育成と雇用の場づくり、②子育てしやすい環境づくり	あつぴアの産業振興センター(仮称)に大学等研究成果活用プラザ(仮称)の設置、地域 ICT を活用した子育て支援環境の充実など	商工観光部 健康福祉部
交流による活力創造プログラム (想定事業費 470 百万円)	①まち歩きシステムの整備、②協働・連携による観光の振興、③交流人口 100 万人の創出をめざした取組	地域特性を活かしたまち歩きシステムの整備、フィルムコミッション・郷土芸能団体等の育成支援などを通じた観光の振興、コンベンション等の誘致・開催などによる交流人口の拡大など	商工観光部 競艇事業部
津らしさ実感プログラム (想定事業費 90 百万円)	①藤堂高虎公入府 400 年を契機とした文化のまちづくり、②地域ブランドの確立、③シティプロモーションの仕組みづくり	高虎サミット IN TSU、藤堂高虎公特別展覧会の開催、都市間連携による地域学の構築に向けた取組、観光振興と一体となった地域ブランドの確立、シティプロモーションの仕組みづくりなど	市長公室 商工観光部

○地域かがやきプログラム

主な取組方向	主な事業展開	主な所管部	
東部エリア(津・久居東・河芸・香良洲) (想定事業費 360 百万円)	①知の拠点としての情報発信、②地域を担う人づくり、③地域連携による交流の推進	研究情報ハブ・文化情報ハブの形成など知の拠点としての情報発信、多彩な人材の育成、鉄道で巡るもてなしルートの設定、ユニバーサルデザインのモデル地域づくりなど	総合支所 総務部等
北部エリア(安濃・芸濃・美里) (想定事業費 220 百万円)	①スポーツ・レクリエーション活動の促進、②地域産業振興の拠点づくり、③自然と親しむ環境づくり	スポーツ・レクリエーション活動の促進、美里水源の森の整備、森と湖の環境整備など	総合支所 水道局等
中部エリア(久居西・一志・白山) (想定事業費 140 百万円)	①温泉リフレッシュゾーンの魅力アップ、②食のブランド化、③地域力の維持、再構築	温泉利用者の誘致に向けた温泉リフレッシュゾーンの魅力アップ、特産品づくりの推進など食のブランド化、地域のにぎわい・ふれあい交流の場づくりなど	総合支所等
南部エリア(美杉) (想定事業費 150 百万円)	①健康で元気な人づくり、②自然の恵みの価値創造、③歴史と文化の拠点の形成	健康増進等複合施設の整備に向けた取組、森林セラピー基地の整備など健康で元気な人づくり、森林を活かしたヘルスツーリズムの推進、伊勢本街道など歴史・文化を活かした地域づくりなど	総合支所等

5 計画を推進するために

1 行財政改革の推進による健全財政の確保

- 簡素で効率的な事務事業の推進
- 民間活力の活用
- 定員管理の適正化
- 健全な財政運営の推進

2 行政経営システムの構築

- トップマネジメント機能の強化
- 自立した事業部門の形成
- 市民と行政の新たなパートナーシップの確立
- 行政評価の実施

3 電子自治体の推進

- ICT による行政サービスの利便性の向上
- 情報システムの活用による事務の効率化

(注) 重点プログラムにおける想定事業費は、プログラムの構成上、事業費を重複して計上しています。